

分 野 社会学・社会福祉学

研究テーマ 福祉教育における援助観形成とテュートリアルモデルの適用、医療ソーシャルワークにおける多職種連携の必要性和意義



キーワード ソーシャルワーク・社会福祉援助技術、保健・医療・介護福祉、社会福祉教育・実習

所属学会等 日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本福祉心理学会、日本介護学会、日本生活支援学会、日本医療ソーシャルワーク学会、日本社会福祉士会

特記事項

URL : <http://researchmap.jp/read0158373/>

【医療福祉分野における研究実践について】

医療ソーシャルワーカーは、病院においてとても大切な職業の一つです。医療スタッフの一員として、医師や看護師とともに患者様やそのご家族と向き合い、生活を支える重要な役割をしています。病気に対する不安や生活に関する悩みなど、様々な相談を受けて、具体的なアドバイスをを行います。病気やケガなどで病院に入院・通院される方の支えになるととても素晴らしい仕事だと思えます。

精神科ソーシャルワーカーは、精神科病院や診療所等で精神障害者やその家族に対して、精神医療や福祉的支援に対する相談に応じ、様々なアドバイスを行う仕事です。精神科医療における入退院の調整や経済的な支援、福祉制度・サービスの活用など様々な支援方法を検討し、患者様とともに考え、生活の基盤を整えていくとても重要な仕事です。精神科ソーシャルワーカーは、精神障害者やその家族へ社会参加に向けての支援を行ったり、社会生活を送る上で抱えている問題や課題に対して必要な支援を行います。



新型コロナウイルス感染症の広がりを受けて医療福祉を取り巻く環境が大きく変わる中、患者様やご家族を支える医療ソーシャルワーカーの業務についても影響が見られ、社会的な意義やその役割が見直されてきております。

そこで、医療福祉分野における研究実践をとおして、これからの医療福祉現場で働くソーシャルワーカーの役割について再確認し、社会的な意義について明らかにしていきたいと考えます。

【 研究活動の紹介 】

これまでの研究活動として、医療福祉の領域だけでなく、幼児教育・保育福祉に関する研究も行なってきました。主な書籍としては、「入門 保健医療と福祉（ミネルヴァ書房）」「よりそい支える 社会的養護Ⅰ・Ⅱ（教育情報出版）」「新・子ども家庭福祉－私たちは子どもに何ができるか－（教育情報出版）」「福祉ライブラリ 相談援助（建帛社）」「社会福祉士国家試験模擬問題集2024-2019（中央法規出版）」などがあります。そして研究論文等では「保育学生による人形劇を用いた食育活動の実践報告」「臨床と教育の協働による医療ソーシャル



ワーカー養成の実践－循環型教育モデルの構築と初歩的検討－」「福祉専門職養成における体験型プログラムの効果検証－車いす体験による学習内容の分析－」などがあります。また、学会での発表には「保育学生における新たな学びへの挑戦－病棟保育士の活動から学ぶ保育の可能性－」「医療ソーシャルワーク教育で獲得したスキルの実践場面における活用について」などがあります。

研究活動の教育的支援としては、大学院において修士課程の院生に研究のおこない方や論文の書き方など研究指導

をしています。

本学で開催された研究大会を企画運営してきました。2022年には日本福祉心理学会の全国大会「こころを紡ぎ未来へとつなぐ福祉心理学」を、2023年には日本医療ソーシャルワーク学会「医療ソーシャルワーカーの未来～さがす、つながる、かえていく～」を開催しました。学会での活動を通して、日本における最先端の研究について知ることができるとともに、西九州大学の研究力の向上にもつながる貴重な機会となります。



【 高校生のみなさんへ メッセージ 】

新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として多くの制限を受けるなか、私たちは先の見えない閉塞感を感じています。このような状況において、患者様やご家族のために尽力されている医療福祉従事者の皆様は私たちの希望です。

もし「人の役に立ちたい」「誰かのために行動してみたい」など優しさに溢れ、そのような気持ちをもつ高校生の方には、ぜひとも医療の現場で働く福祉の専門職である医療ソーシャルワーカーという素晴らしい仕事を知ってもらいたいと思います。命を救う医療現場において、患者様やそのご家族の生活を守る福祉の専門職は、今の社会にとってとても大切な役割を担います。

医療現場で働く福祉の専門職である医療ソーシャルワーカーについて、少しでも興味を持っていただけたならとても嬉しいです♪

